

平成 22 年度 ジェイコムさいたま 放送番組審議会 議事録

1. 日 時 : 平成 23 年 1 月 26 日(水)11 時 00 分～12 時 15 分

2. 会 場 ジェイコムさいたま 1 階大会議室

3. 出席者 関根 昭治 委員 内木 滋郎 委員
大島 清 委員 齋藤 陽子 委員

代表取締役社長 氏本 祐介

業務局長 中島謙一

関東メディアセンター 制作グループ長 仲川 圭

関東メディアセンター さいたま事務所 清水 勇

4. 欠席委員 大沼 大二郎 委員 宇高 良哲 委員
清宮 安雄 委員 高梨 邦彦 委員

5. 審議事項

1)審議委員長選任

関根昭治委員が選出され、満場一致で選任された。

放送法及び有線テレビジョン放送法の規程に参加委員数が達していないが、平沼委員より委任状を受理しているため、審議委員会が適法に開催されている旨を宣言した。

2)ジェイコムさいたまの現況について 氏本社長

平成 22 年度の事業総括を報告。

3)多チャンネル編成について 中島業務管理局长

ジェイコムの総合パンフレットを元に多チャンネルチャンネルラインナップを説明。

4)自主制作番組部門の業務内容について 関東メディアセンター 仲川

さいたま局制作の自主放送番組について資料に基づき、今年度の番組毎の取り組みを説明。地域密着のフットワークの軽さを生かし、地域の情報回覧板として良質な情報発信を目指していることを報告した。

タイムリーかつお得な情報をお伝えする生放送番組の実現、および従来のコミチャンの帯編成を改善した日替わり編成への移行実現、生活圏を考慮した番組づくりなど、さらなる視聴習慣の向上を推進していくことを報告。

5)さいたま局制作 ローカル番組の試写 関東メディアセンター 清水

具体的な内容、新たな取り組みについて報告。

5. 質疑応答

(委員)7月24日以降のアナログ放送終了後にUHFアンテナを立てれば、ブラウン管テレビで、地上デジタル放送が視聴できるのか。

→ UHF アンテナと地上デジタル放送のチューナーが必要。ジェイコムで番組をご覧いただいている方であれば、2015年までは現状のままでテレビの視聴が可能、有料サービスの方は2015年以降も視聴可能。

ご意見 パブリックアクセスへの取り組みを強化し、地域の情報の発信の場として活用してはどうか。またジェイコムのスケールメリットを生かし、埼玉県の観光を他県に発信して地域活性化につなげてほしい。

(委員)ジェイコムサービスのおもな解約理由は何か。

→ 解約のお客様にはヒヤリングをさせていただいている。転居されるお客様、競合他社への切り替えについては、量販店でのHVテレビ購入に伴う割引きによる家計節約型解約が大半である。

ご意見 ジェイコムレターがとてもタイムリーな情報と解説を発信されているのでありがたい。さいたま発のアーティストを発掘するような番組を制作してはどうか。

地域密着のメディアとしての役割で、強みでもあると思うので。NPO活動のドキュメンタリー番組など面白いのではないか。

(委員)ご意見 ジェイコムへの協力は引き続きさせていただくので、さらなるコミュニティ結束力強化のための地域情報提供をお願いしたい。

(委員)ご意見 「地域公共情報インフラ」、「地域公共言論機関」として地域を支援する番組づくりをお願いしたい。

以上